



税理士
佐藤登美子さん

高校の簿記の講師、会計事務所勤務を経て、昭和57年12月に税理士試験合格。昭和58年4月に山形市桜田に会計事務所を開業。現在は松栄に17人のスタッフとともに事務所を構える。(右)佐藤税務会計事務所代表取締役。

税理士になったきっかけは？

高校で簿記の講師をしていましたが、結婚後、市内の会計事務所に勤めました。数年後、税理士試験に自分の能力で挑戦できるか、試しに1科目を受験してみました。1科目に合格できたことで、「男女の別なく資格さえあれば独立できる」と思い税理士を目指すことになりました。

これが開業当初の目標でした。市内はもちろん北は尾花沢市、南は長井市と縦横無尽に駆け巡りました。また、中小企業や個人事業者は、家族経営で、奥さんが経理や会計を担当されていることが多く、女性同士、話が花が咲くこともあり、口コミなどで顧客は拡大し、業績も順調に伸びていきました。

佐藤さんにとって仕事とは？

仕事は私の生活の一部です。仕事のせいで何かを犠牲にしたという意識はなかったことがありません。私は悩みがあってもくだら



税理士試験は難しいのでは？

簿記の講師をしていたこともあり、簿記論は一発で合格しました。しかし、残り4科目は仕事も家庭も勉強も両立しようと思っただけでしたが、勉強ははかばかしていませんでした。30歳になった時、税理士試験にちゃんと向き合い挑戦しようと思っ所に1年間の休職を申し出ました。休職中は東京にアパートを借り、月曜から金曜日に上京し、専門学校で学びました。その甲斐があつて、国税に関する3科目は1年で合格しました。

最後の1科目、財務諸表論は、毎週日曜の講義コースで勉強しました。高速バスで土曜の夜に上京して月曜の朝に山形に戻るとい生活を送りました。

昭和57年12月、すべての試験をクリアし、昭和58年4月、会計事務所開業に至りました。両親、夫がとても喜んでくれました。

会計事務所を開業されるにあたって、

「女性」だから苦労されたのでは？

女性だからという理由で苦労したことはありません。むしろ、税理士の仕事は細かい気配りが必要で、女性に向いていると思います。

「1年間に20件ずつ顧客を獲得し、スタッフを1人ずつ増やすこと」。

今後の目標は？

これから創業する若者や高齢者を応援したいです。また、税金がどんな風に暮らしている中に活かされているか、たくさんの人に知ってもらいたいと考えています。「租税教育」を学校教育や社会教育などに取り入れたいと東北税理士会山形支部に、専門部の立上げを提案し、決定されました。税金についてやさしく身近に触れて貰い、税金があるからこそ豊かな生活を送れることを教える一方、納税者には税の使われ方に注視してもらいたいと思います。

取材を終えて

「女性だから」という理由で苦労したことはありません」ときっぱりと断る。税理士試験合格への厳しい道程も、真摯に、そして気さくに話してくださいました。税務に関する専門家として、公正な立場で、納税義務の適正な実現を図ることを使命とする税理士佐藤さんの人柄が、顧客との信頼関係を築く礎ではないかと思えました。

(編集協力員 山下みどり)

山形で輝く女性 チャレンジウーマン訪問！



山形 けしし 工人
梅木直美さん

山形けしし工人として名高い父・修一氏に師事し、その跡を継ぐ。全国で開催されるけしし祭りにて、数多くの賞を受賞。

会社を辞めて けしし工人の世界へ

私は、会社勤めのかたわら、こけしの絵付けをしてきました。愛好家の方から絵付けをお願いされ、「1つだけなら…」と、それがきっかけでした。でも当時は「女だから難しいだろう」とこけし工人になることは考えていませんでした。

の形にするというのを換く「作業の絵付けをします。こけし作りといっても、体力的に、女性がすべて男性と同じ作業を行うことは難しいと思います。男性の役割、女性の役割があつてお互いできない部分を補い合うことも大事なことでと思います。

工人の思いが けししの表情を作る

こけしは一見、どれも同じように見えますが、よく見ると一つ一つ微妙に表情が違います。父と私のこけしも違つていて、私のこけしは表情が女性らしいと言つて下さる方もいます。以前、「あなたが絵付けした作品は個性がない」と言われたことがありますが、こけし作りに専念してからは、「こけしの表情が豊かになった」と褒められました。



作業場にて。作業中、終始厳しい表情だった修一氏も、顔がほころぶ。

こけしは、絵付けをした人が作者となりますので、こけしの底に私の名前が入り、うめき直美の作品となります。初めての作品は、愛好家の間に口コミで広がり、次々と依頼が入るようになりました。平成22年、会社を辞め、この世界に入りました。「今、父からしっかりと教わらなければこけし工人になるチャンス逃してしまう」と思ったからです。

こけし作りは危険でハードな仕事

こけし作りは女性には厳しく、ほとんどが男性です。女性は、全体の1割ぐらいでしょうか。こけし作りは大きな丸太を、扱いやすい大きさの角材にするまでは、危険で力のいる作業ですから、女性には難しい工程です。私もこの工程は父にお願いしています。角材になったところで、私がそれをこけし



中央左…直美氏作(農林水産大臣賞) 中央右…修一氏作(内閣総理大臣賞)

私の中の覚悟がこけしの顔に出たのでしよう。良いこけしを作るには、自分磨きが大切だと気付かされました。

最近、こけし工人として「マスコットの取材を受けることも多いのですが、注目されるのはたぶん女性の工人が珍しいからだと思います(笑)。でも、今の状況に甘えることなく、工人として腕を磨きたいと思っています。

山形のこけしを世界へ

テパパートなどで実演販売をする。たくさんの方々の愛好家の方がこけしの良さや特徴について、長い時間話をしてくれます。父は「作り手と買手手とこんなに深く交流できるこけし屋ほど恵まれた商売はない」と言っています。

今年10月には、イタリアのミラノで、山形の食や文化を発信する機会が与えられ、私もこけし工人として現地でも実演する予定です。

こけしの不思議な魅力に惹かれる人は、年配の方から小さなお子さんまで、さらに国内から海外へ広がっています。最近では「けしし」と呼ばれる、若い女性愛好家もいます。父のものでしっかりと修行を積み、こけしの魅力を数多くの人に伝えられたいと思います。

(編集協力員 渡邊園美)